

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社

コード番号 6429 URL <http://www.taiyoelec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 英理子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 渡邊 暢彦

TEL 052-502-9222

四半期報告書提出予定日 平成21年8月6日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,610	107.2	2,499	534.0	2,498	524.7	2,095	443.7
21年3月期第1四半期	5,119	—	394	—	399	—	385	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	92.37	—
21年3月期第1四半期	16.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	22,978	13,356	58.1	588.85
21年3月期	17,841	11,340	63.6	499.97

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 13,356百万円 21年3月期 11,340百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	17,300	84.8	1,180	244.4	1,180	195.2	1,110	213.3	48.94
累計期間	34,300	139.7	2,480	512.2	2,500	427.1	1,400	240.9	61.72
通期	34,300	139.7	2,480	512.2	2,500	427.1	1,400	240.9	61.72

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	22,833,748株	21年3月期	22,833,748株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	151,414株	21年3月期	151,414株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	22,682,334株	21年3月期第1四半期	22,832,334株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、一部の業種において在庫調整が進み、生産に持ち直しの兆しが見られるものの、設備や雇用の過剰感は払拭されず、依然として個人消費は厳しい状況が続いております。

遊技機業界におきましては、プレイヤー人口が引き続き減少傾向にあるものと推測される中、遊技機ホール間の顧客獲得に向けた競争の激化が続いており、遊技機ホールは各メーカーが投入する数多くの新機種の中から話題性・ゲーム性が高く集客力の見込める遊技機を選別するとともに、低単価営業など新たな営業展開を模索するなど、遊技機ホールの運営も多様化が進んでおります。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

パチンコ機につきましては、新枠ALDIO枠の搭載機種第一弾として、市場で高い評価を博した初代「CR機動新撰組 萌えよ剣」をさらに進化させた当社自信作「CR機動新撰組 萌えよ剣 疾風怒濤編」（平成21年5月発売）を販売しましたほか、「CR八代亜紀 心の故郷 帰りませんか」（平成21年3月発売）の継続販売を行いました。

パチスロ機につきましては、第1四半期において新機種の発売は当初より予定しておらず、発売いたしておりません。

以上の結果、当第1四半期累計期間の販売台数は、パチンコ機34,248台（前年同期比18,696台 増）、パチスロ機0台（前年同期比2,662台 減）となり、売上高は、106億10百万円（前年同期比54億90百万円 増）となりました。

また、利益面につきましては、「CR機動新撰組 萌えよ剣 疾風怒濤編」の販売が順調であったこと、および生産計画において適正数量の部材発注に努め部材の廃棄損を抑えたことにより売上総利益が前年同期に比べ大幅に増加し、また経費面につきましても継続的にその抑制に努めた結果、第1四半期累計期間の営業利益は、24億99百万円（前年同期比21億5百万円 増）、経常利益は、24億98百万円（前年同期比20億98百万円 増）、四半期純利益は、20億95百万円（前年同期比17億9百万円 増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

（資産）

資産は229億78百万円（前事業年度末比 51億37百万円増）となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が9億10百万円減少したものの、一方で現金及び預金が31億11百万円、受取手形及び売掛金が24億72百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

負債は96億22百万円（前事業年度末比 31億21百万円増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が27億98百万円、未払法人税等が3億53百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産は133億56百万円（前事業年度末比 20億15百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が19億81百万円増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、128億96百万円（前事業年度末比 36億56百万円増）となりました。当四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は41億58百万円であります。これは主に、売上債権の増加額24億72百万円があったものの、一方で税引前四半期純利益24億62百万円、仕入債務の増加額26億55百万円、及びたな卸資産の減少額9億41百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億77百万円であります。これは主に、定期預金の減少額45百万円があったものの、一方で有形固定資産の取得による支出4億18百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億24百万円であります。これは、リース債務の返済による支出24百万円、配当金の支払額99百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は順調に推移いたしました。第2四半期以降の市場動向が不透明な状況であることから、現時点では平成21年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期業績予想につきましては、変更していません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

② 棚卸資産の評価方法

当四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,406,329	9,294,901
受取手形及び売掛金	5,306,896	2,834,770
有価証券	500,000	—
商品及び製品	—	32,052
仕掛品	8,977	7,290
原材料及び貯蔵品	903,574	1,814,313
その他	142,231	193,225
貸倒引当金	△2,600	△2,500
流動資産合計	19,265,409	14,174,053
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	736,833	731,492
工具、器具及び備品(純額)	976,389	924,941
土地	883,965	883,965
その他(純額)	338,819	361,859
有形固定資産合計	2,936,008	2,902,259
無形固定資産	32,562	35,361
投資その他の資産		
その他	762,623	747,219
貸倒引当金	△17,901	△17,778
投資その他の資産合計	744,721	729,440
固定資産合計	3,713,291	3,667,061
資産合計	22,978,700	17,841,115
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,478,721	2,679,817
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	380,902	27,809
賞与引当金	82,122	102,985
その他	1,023,475	1,045,406
流動負債合計	8,465,221	5,356,018
固定負債		
退職給付引当金	52,982	41,202
役員退職慰労引当金	778,046	764,651
繰延税金負債	11,592	5,810
その他	314,345	332,899
固定負債合計	1,156,966	1,144,564
負債合計	9,622,187	6,500,583

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,125,142	5,125,142
資本剰余金	5,161,314	5,161,314
利益剰余金	3,111,764	1,130,010
自己株式	△64,955	△64,955
株主資本合計	13,333,266	11,351,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,247	△10,980
評価・換算差額等合計	23,247	△10,980
純資産合計	13,356,513	11,340,531
負債純資産合計	22,978,700	17,841,115

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	5,119,800	10,610,529
売上原価	3,579,547	6,418,074
売上総利益	1,540,252	4,192,454
販売費及び一般管理費	1,146,027	1,692,901
営業利益	394,225	2,499,553
営業外収益		
受取利息	1,952	3,120
受取配当金	2,023	1,132
保険配当金	7,289	—
その他	3,607	4,272
営業外収益合計	14,872	8,525
営業外費用		
支払利息	7,195	7,966
支払手数料	1,993	1,525
その他	—	223
営業外費用合計	9,188	9,715
経常利益	399,910	2,498,363
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,458	—
特別利益合計	11,458	—
特別損失		
固定資産除却損	5,408	5,656
投資有価証券評価損	—	30,330
特別損失合計	5,408	35,987
税引前四半期純利益	405,960	2,462,375
法人税、住民税及び事業税	4,000	367,210
過年度法人税等	16,581	—
法人税等合計	20,581	367,210
四半期純利益	385,378	2,095,165

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	405,960	2,462,375
減価償却費	109,190	171,263
有形固定資産除却損	5,408	5,656
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,458	223
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,471	△20,862
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,442	11,779
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,290	13,395
受取利息及び受取配当金	△3,975	△4,252
支払利息	7,195	7,966
投資有価証券評価損益(△は益)	—	30,330
売上債権の増減額(△は増加)	648,392	△2,472,860
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,105,213	941,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,498,161	2,655,981
その他	△222,072	375,471
小計	△506,626	4,177,571
利息及び配当金の受取額	4,171	4,934
利息の支払額	△6,708	△7,903
法人税等の支払額	△32,307	△16,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	△541,471	4,158,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	45,000	45,000
有形固定資産の取得による支出	△50,532	△418,208
ソフトウェアの取得による支出	△756	—
その他	5,455	△4,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△833	△377,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
リース債務の返済による支出	△44,855	△24,462
配当金の支払額	△101,188	△99,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446,044	△124,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△988,349	3,656,428
現金及び現金同等物の期首残高	9,781,722	9,239,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,793,372	12,896,329

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。